

実収入の伸びは実質で0.6%の減(全世帯)…………

1. はじめに

この調査は県内に居住する世帯について、消費生活の実態を調査し、消費の水準とその構造、および地域差を明らかにし、行政施策立案の基礎資料を提供することを目的とするもので、9月1か月間調査を実施しました。

もとより1か月間の抽出調査であるため、資料として内容的には不十分な点も多々あると思いますが、いささかでも参考にできれば幸いです。

2. 調査の方法

(1) 調査の対象

調査の対象は県内に居住する世帯で、次にあげる世帯は除いた。

ア. 耕地面積10a以上の農家、および10a未満でも農業粗収益が10万円以上の世帯、林業・漁業世帯

イ. 料理飲食店、旅館、下宿屋(賄付の素人下宿を含む)を営む併用住宅の世帯

ウ. 住み込みの雇用者が4人以上いる世帯

エ. 単身世帯、外国人世帯、世帯主長期不在世帯

(2) 標本抽出の方法と集計数

層化3段抽出(市町村、調査地区、調査世帯)方法によって26市町村、55調査区、660世帯を抽出し、家計調査分と合わせ29市町村、67調査区、804世帯として集計した。(表-1)

(3) 調査事項

ア. 収入と支出(ただし一般世帯は支出のみ)

イ. 主要耐久消費財所有状況

ウ. 世帯員および住居の状況

(4) 世帯区分

調査世帯の全部を「全世帯」といい、これを世帯主の職業によって「勤労者世帯」と「一般世帯」とに分けている。

勤労者世帯……世帯主が会社・官公庁、学校、工場などに勤めている世帯
一般世帯……商人、職人、法人経営者、自由業者、無職、会社団体の役員の世界

表-1

区 分	調 査 世 帯			抽 出 率
	本調査分	家計調査分	計	
県北平坦地域	132	96	228	1/730
県北山間地域	144	—	144	1/330
鹿行地域	120	—	120	1/300
県南地域	180	—	180	1/720
県西地域	84	48	132	1/630
計	660	144	804	

(5) 有業人員

勤め先のある者、自営業主、家族従業者、内職者(収入が毎月おおむね1万円以上になるもの)

(6) 調整集計

地域別に調査世帯の抽出率が異なるので、これを調整して集計を行った。

(7) 家計収支の構成(図-1)

(8) その他

可処分所得 = 実収入 - 非消費支出

平均消費性向 = 消費支出 ÷ 可処分所得

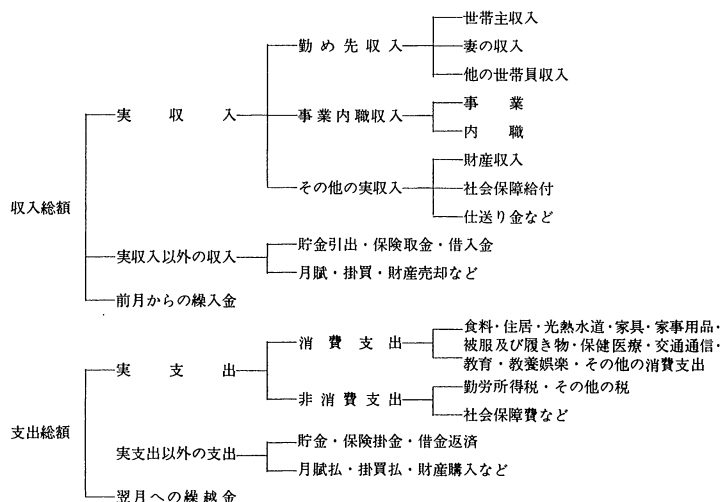
平均貯蓄性向 = 貯蓄純増 ÷ 可処分所得

黒字 = 実収入 - 実支出

名目増加率 = 対前年同期増加率

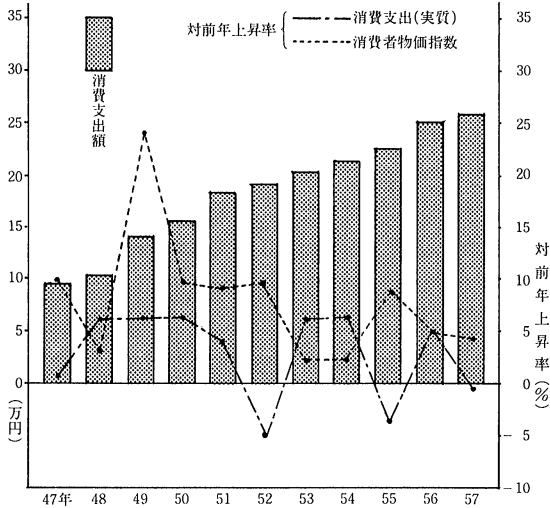
実質増加率 = $\left(\frac{\text{名目の増加倍率}}{\text{消費者物価指数の倍率}} - 1 \right) \times 100$

図-1 家計収支の構成



昭和57年茨城県消費実態調査結果

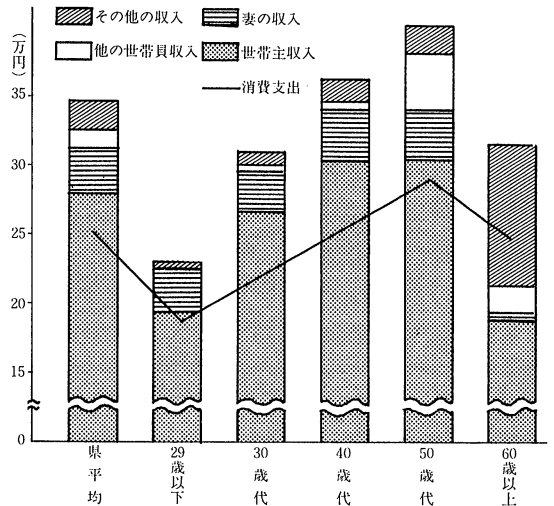
図一 消費支出の推移 (全世帯)



表一 全世帯の消費支出の推移

区 分	53年	54年	55年	56年	57年
消費支出(円)	201,031	219,671	228,109	251,284	259,488
名目増加率(%)	9.1	9.3	3.8	10.2	3.3
実質増加率(%)	6.0	6.5	△4.7	5.0	△0.3
エンゲル係数	30.8	29.1	31.2	29.5	29.1
消費者物価指数 上昇率(9月)(%)	2.9	2.6	8.9	5.0	3.6

図三 世帯主の年代別収入内訳と消費支出(勤労者世帯)



%の減少となった。

平均消費性向は、87.1%で前年の85.8%を1.3ポイント上回った。

(2) 全世帯の家計

消費支出を10大費目別にみると、56年より実質で増加したのは、教育(19.2%)、被服及び履き物(17.1%)、交通通信(13.9%)であり、減少したのは、その他の消費支出(9.1%)、保健医療(6.8%)、家具・家事用品(4.2%)、光熱・水

3. 調査結果の概要

表一 全世帯の消費支出

区 分	実 数 (円)		構 成 比 (%)		前年同期比 (%)		同実質比 (%)	
	56年	57年	56年	57年	56年	57年	56年	57年
消費支出	251,284	259,488	100.0	100.0	110.2	103.3	105.0	99.7
食 料	74,012	75,552	29.5	29.1	104.0	102.1	99.0	98.6
住 居	8,656	8,929	3.4	3.4	96.7	103.2	92.1	99.6
光 熱・水道	14,953	15,185	6.0	5.9	111.3	101.6	106.0	98.1
家具・家事用品	11,677	11,579	4.6	4.5	238.1	99.2	226.8	95.8
被服及び履き物	15,073	18,285	6.0	7.0	109.1	121.3	104.0	117.1
保健医療	7,591	7,334	3.0	2.8	96.3	96.6	91.7	93.2
交通通信	23,637	27,887	9.4	10.7	102.8	118.0	97.9	113.9
教 育	11,805	14,585	4.7	5.6	114.7	123.5	109.2	119.2
教養娯楽	15,723	15,982	6.3	6.2	87.6	101.6	83.4	98.1
その他の消費支出	68,157	64,170	27.1	24.7	120.1	94.2	114.4	90.9

(1) 概 況

昭和57年全世帯の消費支出259,488円は、56年に比べ名目で3.3%増加したが、物価上昇分を除く実質でみると0.3%減少した。

勤労者世帯と一般世帯の消費支出を比較すると、一般世帯の方が11.5%高くなっている。

勤労者世帯の実収入の伸びは前年に比べ、名目で3.0%増加したが、実質で0.6

■ 調査から

道と教養娯楽(1.9%)、食料(1.4%)、住居(0.4%)である。

(表-3)

(3) 勤労者世帯の家計収支

ア. 実収入の伸びは前年同期に比べ実質で0.6%の減少となった。

実収入の94.9%を占めている勤め先収入は、世帯主の収入が56年と比べ実質2.2%減少したのに対し、妻の収入は実質で21.0%増加した。(表-4)

なお、世帯主の年代別に妻の収入の割合をみると29歳

以下が12.5%で最も高く、ついで40歳代の11.0%であり、県平均の10.2%を上回っている。(図-3)

イ. 消費支出は実質で0.2%の減となったが10大費目別にみると家具・家事用品、保健医療、光熱水道、食料は減少しているが被服及び履き物、教育、教養娯楽、住居は約1割近く増加している。(表-5)

ウ. 家計収支のバランスでは、実収入から税金、社会保険料などの非消費支出を差し引いた可処分所得(手取り収入)は前年に比べ、実質で1.6%の減となった。

表-4 勤労者世帯の収入

区 分	実 数 (円)		構 成 比 (%)		前年同期比 (%)		同実質比 (%)	
	56 年	57 年	56 年	57 年	56 年	57 年	56 年	57 年
取 入 総 額	522,533	581,236	—	—	—	—	—	—
実 収 入	335,661	345,748	100.0	100.0	107.0	103.0	101.9	99.4
勤め先収入	317,122	327,959	94.5	94.9	108.8	103.4	103.6	99.8
世帯主収入	276,862	280,533	82.5	81.1	106.4	101.3	101.3	97.8
妻の収入	28,003	35,112	8.3	10.2	130.7	125.4	124.5	121.0
他の世帯員収入	12,257	12,314	3.7	3.6	124.1	100.5	118.2	97.0
事業内職収入	6,930	5,767	2.1	1.7	84.5	120.2	80.5	116.0
他の実収入	11,609	12,021	3.4	3.5	83.5	103.5	79.5	99.9
実収入以外の収入	85,258	142,449	—	—	100.5	167.1	95.7	161.3
繰 入 金	101,614	93,038	—	—	98.6	91.6	93.9	88.4

表-5 勤労者世帯の消費支出

区 分	実 数 (円)		構 成 比 (%)		前年同期比 (%)		同実質比 (%)	
	56 年	57 年	56 年	57 年	56 年	57 年	56 年	57 年
消 費 支 出	240,543	248,803	100.0	100.0	104.5	103.4	99.5	99.8
食 料	70,913	72,025	29.5	28.9	103.6	101.6	98.7	98.1
住 居	8,184	8,545	3.4	3.4	101.1	104.4	96.3	100.8
光熱・水道	13,776	13,962	5.7	5.6	110.6	101.4	105.3	97.9
家具・家事用品	9,742	7,670	4.0	3.1	177.8	78.7	169.3	76.0
被服及び履き物	14,645	16,627	6.1	6.7	110.2	113.5	105.0	109.6
保健医療	7,088	6,562	2.9	2.6	103.8	92.6	98.9	89.4
交通通信	24,924	26,590	10.4	10.7	98.0	106.7	93.3	103.0
教 育	12,133	13,635	5.0	5.5	107.4	112.4	102.3	108.5
教養娯楽	15,147	16,835	6.3	6.8	84.6	111.1	80.6	107.2
その他の消費支出	63,991	66,353	26.6	26.7	105.1	103.7	100.1	100.1

(4) 地域別の比較

全世帯の消費支出を地域別にみると、県平均259,488円に対し県南が279,848円で最も多く、ついで鹿行の270,310円、県西254,601円、県北山間250,126円、県北平坦246,440円となっている。(表-6)

消費支出に占める食料の割合(エンゲル係数)をみると、高いのは県北山間の30.5%で鹿行、県西が29.6%、県北平坦が28.9%、最も低いのは県南の28.5%となっている。(表-6)

勤労者世帯の実収入では、県平均を100として県南が106.7、県北山間が103.6、鹿行が103.0と高く、県西97.0、県北平坦95.4と低くなっている。

消費支出でも県南が112.4と最も高く、県北山間101.5、鹿行98.3、県西94.8、県北平坦93.7となっている。

(表-7)

(統計課・農林経済グループ)

表一六 地域別，消費支出の比較（全世帯）

区 分		県 平 均	県北平坦	県北山間	鹿 行	県 南	県 西
実 数 (円)	消 費 支 出	259,488	246,440	250,126	270,310	279,848	254,601
	食 料	75,552	71,131	76,176	80,006	79,859	75,419
	住 居	8,929	9,075	4,462	8,942	12,534	5,575
	光 熱・水 道	15,185	13,468	15,875	18,577	16,323	14,990
	家具・家事用品	11,579	12,334	9,943	9,152	12,768	10,202
	被服及び履き物	18,285	17,967	16,705	19,152	20,750	15,611
	保 健 医 療	7,334	6,034	6,896	6,035	9,046	8,083
	交 通 通 信	27,887	26,341	31,314	30,197	31,842	21,840
	教 育	14,585	12,037	11,802	12,528	16,716	18,863
	教 養 娛 楽	15,982	16,788	13,761	12,107	16,202	16,972
その他の消費支出	64,170	61,264	63,191	73,613	63,807	67,046	
構 成 比 (%)	消 費 支 出	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	食 料	29.1	28.9	30.5	29.6	28.5	29.6
	住 居	3.4	3.7	1.8	3.3	4.5	2.2
	光 熱・水 道	5.9	5.5	6.3	6.9	5.8	5.9
	家具・家事用品	4.5	5.0	4.0	3.4	4.6	4.0
	被服及び履き物	7.0	7.3	6.7	7.1	7.4	6.1
	保 健 医 療	2.8	2.4	2.8	2.2	3.2	3.2
	交 通 通 信	10.7	10.7	12.5	11.2	11.4	8.6
	教 育	5.6	4.9	4.7	4.6	6.0	7.4
	教 養 娛 楽	6.2	6.8	5.5	4.5	5.8	6.7
その他の消費支出	24.7	24.9	25.3	27.2	22.8	26.3	

表一七 地域別実収入，消費支出の比較（勤労者世帯）

区 分		県 平 均	県北平坦	県北山間	鹿 行	県 南	県 西
実 数 (円)	実 収 入	345,748	329,800	358,104	356,237	368,846	335,317
	勤 め 先 収 入	327,959	312,190	341,014	338,440	349,238	319,613
	世 帯 主 収 入	280,533	287,153	281,116	274,025	287,741	256,073
	消 費 支 出	248,803	233,204	252,480	244,472	279,767	235,984
	可 処 分 所 得	285,673	272,824	294,795	299,850	300,959	280,602
県 平 均 100	実 収 入	100.0	95.4	103.6	103.0	106.7	97.0
	勤 め 先 収 入	100.0	95.2	104.0	103.2	106.5	97.5
	世 帯 主 収 入	100.0	102.4	100.2	97.7	102.6	91.3
	消 費 支 出	100.0	93.7	101.5	98.3	112.4	94.8
	可 処 分 所 得	100.0	95.5	103.2	105.0	105.4	98.2